

「CSRの取り組みにあたって—CSR実践行動計画—」 の策定について

当社は、CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の推進を重要な経営課題のひとつと位置付け、平成16年6月の本社組織見直しにおいて、「CSR推進部門」(部門長:常務取締役 寺田達明)を設置し、全社を挙げた取り組みを展開しています。

このたび、社員一人ひとりがCSRの取り組みの目的・方向性などについて一層理解を深め、日々の業務において実践していくため、「CSRの取り組みにあたって—CSR実践行動計画—」を策定しました。

本計画は、当社におけるCSRの取り組みの基本的な考え方や目標などを整理し、取りまとめたものであり、小冊子にして全社員に配布します。

当社は、CSRを競争力の源泉として捉え、CSRの取り組みを通じて「社会から信頼され、選択される企業」となることを目指し、引き続き、全社一丸となった取り組みを展開してまいります。

1. 「CSRの取り組みにあたって—CSR実践行動計画—」の特徴

- CSRの理念や目的を示すだけでなく、社員一人ひとりの実践につながるよう、取り組みの考え方や具体例、目標などを記載し、わかりやすいものとなりました。
- 目標の達成度合を客観的に把握する指標として、「CSR格付指標」、「ブランド価値指標」の2つの指標を設定しました。
- 企業理念や経営方針などに示される考え方や目標を踏まえ、CSRの取り組みの方向性を6項目に整理し、この方向性に沿って、「CSRアクション」と「CSRコミュニケーション」を両輪とした取り組みを実践していくこととしました。

2. 「CSRの取り組みにあたって—CSR実践行動計画—」の構成

(1) 取り組みの基本的考え方

- ・ CSRとは
- ・ 当社におけるCSRの取り組みの考え方
- ・ CSRの心構え《C》つながりを大切にする。(Communication)
《S》心をこめて接する。(Soul)
《R》ご期待にお応えする。(Response)

(2) CSR推進目標

(3) 目標達成に向けた取り組みの方向性

- ・ 取り組みの方向性6項目
「良質で安心できる商品・サービスの提供」「環境問題への積極的な対応」
「地域社会発展への貢献」「人権尊重と働きがいのある企業づくり」
「コンプライアンスの徹底」「コミュニケーションの推進」

(4) CSR推進体制

- ・ CSR推進委員会の設置等